

鹿島地区新高校再編整備実施計画

平成29年3月27日
佐賀県教育委員会

目次

	頁
検討の趣旨	1
「鹿島地区新高校設置準備委員会」での検討経過	1
計画の内容	
1 校名	2
2 めざす学校像	2
3 学級編制と学科の特色	4
(1) 学級編制	
(2) 学科の特色	
4 教育課程	8
5 特色ある教育活動	12
6 校時	13
7 校舎制	14
(1) 校舎間移動	
(2) 部活動	
(3) 合同で実施する主な学校行事	
資料1 新高校設置準備委員会設置要領	
資料2 鹿島地区新高校設置に向けた検討体制	
資料3 鹿島地区新高校設置準備委員会委員構成	

検討の趣旨

佐賀県教育委員会は、平成26年12月に「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）」を策定し、鹿島高等学校及び鹿島実業高等学校の再編を決定した。

計画では、平成30年度に鹿島高等学校（1学年200人（5学級規模））及び鹿島実業高等学校（1学年120人（3学級規模））を再編して、280人（7学級規模）とし、学科については現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討することとした。また、地域の生徒数の減を勘案し、平成31年度又は32年度にさらに募集定員を40人（1学級規模）減じることとした。

これを踏まえ、鹿島地区新高校の具体的な在り方等を検討するために、平成27年4月に鹿島高等学校、鹿島実業高等学校、両高等学校の同窓会・PTA、地元中学校、鹿島市、嬉野市、白石町、太良町の市町関係者や教育長及び佐賀県教育委員会の関係者からなる「鹿島地区新高校設置準備委員会」を立ち上げ、魅力ある新高校づくりを目指した検討を行ってきた。

「鹿島地区新高校設置準備委員会」での検討経過

平成27年度から平成28年度にかけて、「鹿島地区新高校設置準備委員会」を9回開催し、新高校設置に向けた検討を行ってきた。

また、この委員会は公開とし、その都度、県のホームページ等を通じて、開催案内や協議事項概要等の報告を行い、県民への情報提供に努めた。

これまでの設置準備委員会開催日及び主な検討事項は、次のとおりである。

回	日付	主な検討項目
第1回	平成27年 6月1日（月）	・ 委員委嘱 ・ 新実施計画の概要 ・ 新高校設置準備委員会検討スケジュール ・ めざす学校像
第2回	平成27年 7月27日（月）	・ めざす学校像 ・ 学科の構成 ・ その他
第3回	平成27年 10月29日（木）	・ めざす学校像 ・ 学科の構成 ・ 校舎制 ・ その他
第4回	平成27年 12月25日（金）	・ 学科の構成 ・ 校舎制 ・ 教育課程、校時 ・ その他
第5回	平成28年 3月23日（水）	・ 学科の構成 ・ 教育課程、校時 ・ 校務分掌、各種委員会 ・ その他
第6回	平成28年 5月16日（月）	・ 生徒配置 ・ 新高校名 ・ 教育課程・校時 ・ 新校歌・新制服等の検討方法
第7回	平成28年 7月26日（火）	・ 教育課程 ・ 校名募集状況 ・ 校時表 ・ 校章・校歌 ・ 校務分掌、各種委員会、部活動
第8回	平成28年 8月30日（火）	・ 教職員配置 ・ 校内検討委員会検討状況報告 ・ 校章・校歌
第9回	平成28年 11月1日（火）	・ 校名検討委員会検討結果報告 ・ 鹿島地区新高校再編整備実施計画（原案）

計画の内容

1 校名

佐賀県立鹿島高等学校 (さがけんりつ かしま こうとうがっこう)

以下、再編前の鹿島高等学校と区別するため(新)鹿島高等学校と記載

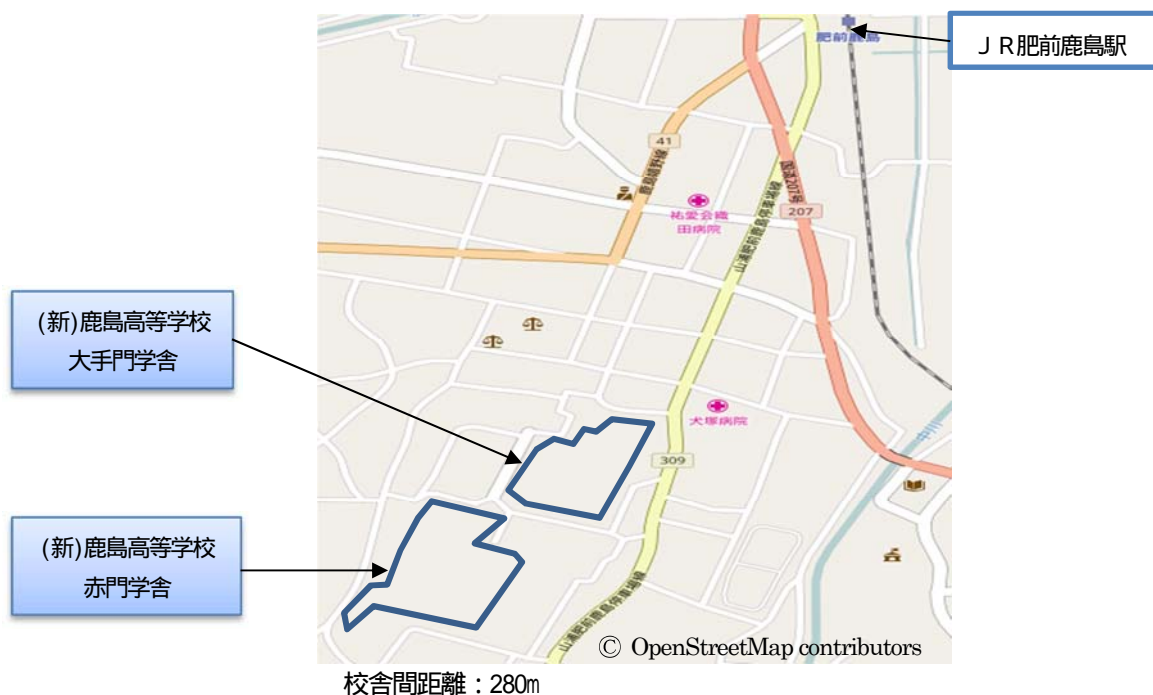
開校時期：平成30年4月

課程：全日制課程

設置場所及び学科

校舎名	あかもん 赤門学舎 (再編前の鹿島高等学校校舎 校地)	おおてもん 大手門学舎 (再編前の鹿島実業高等学校校舎 校地)
設置場所	〒849-1311 佐賀県鹿島市大字高津原 462 番地	〒849-1311 佐賀県鹿島市大字高津原 539 番地
学科 (大学科)	普通科	商業科・家庭科

(再編前の鹿島高等学校及び再編前の鹿島実業高等学校の両校舎(校地)を利用する「校舎制」をとる。)



2 めざす学校像

心身ともに逞しく生きる力を持ち
豊かな人間性と知性とを兼ね備えた
広く社会に貢献する人材を育てる学校

【(新)鹿島高等学校コンセプト(グランドデザイン)】



3 学級編制と学科の特色

(1) 学級編制

再編前

- 鹿島高等学校： 普通科5学級（200人）、
- 鹿島実業高等学校：食品調理科1学級（40人）、商業科1学級（40人）、情報処理科1学級（40人）

(新) 鹿島高等学校：平成30年度～

平成30年度

- 普通科
 - ・ 普通科 5学級（200人）
 - 商業科
 - ・ 商業科 1学級（40人）
 - 家庭科
 - ・ 食品調理科 1学級（40人）
- 計 7学級（280人）

平成31年度又は平成32年度

- 普通科
 - ・ 普通科 4学級（160人）
 - 商業科
 - ・ 商業科 1学級（40人）
 - 家庭科
 - ・ 食品調理科 1学級（40人）
- 計 6学級（240人）

【年次進行】

	(新)鹿島高等学校		鹿島高等学校		鹿島実業高等学校		
	赤門学舎	大手門学舎					
平成30年度	1年	普通科	商業科 食品調理科	2年	普通科	2年	商業科 情報処理科 食品調理科
				3年	普通科	3年	商業科 情報処理科 食品調理科
平成31年度	1年	普通科	商業科 食品調理科	3年	普通科	3年	商業科 情報処理科 食品調理科
	2年	普通科					
平成32年度	1年	普通科	商業科 食品調理科	再編前の鹿島高等学校及び再編前の鹿島実業高等学校に入学した者は、それぞれの高等学校を卒業することとなる。 なお、両高等学校については、平成31年度末に閉校する。			
	2年	普通科					
	3年	普通科					

(2) 学科の特色

普通科

学科の目標

普通教科を中心に学力を充実・向上させ、大学等高等教育機関への進学を目指す。

求める生徒像

大学等への進学を目指して、自らを律し、謙虚に学ぼうとする気持ちを持った生徒
目標の実現と心身の鍛錬に向かって、勉学と部活動の両立を目指す強い意志と実行力を持った生徒

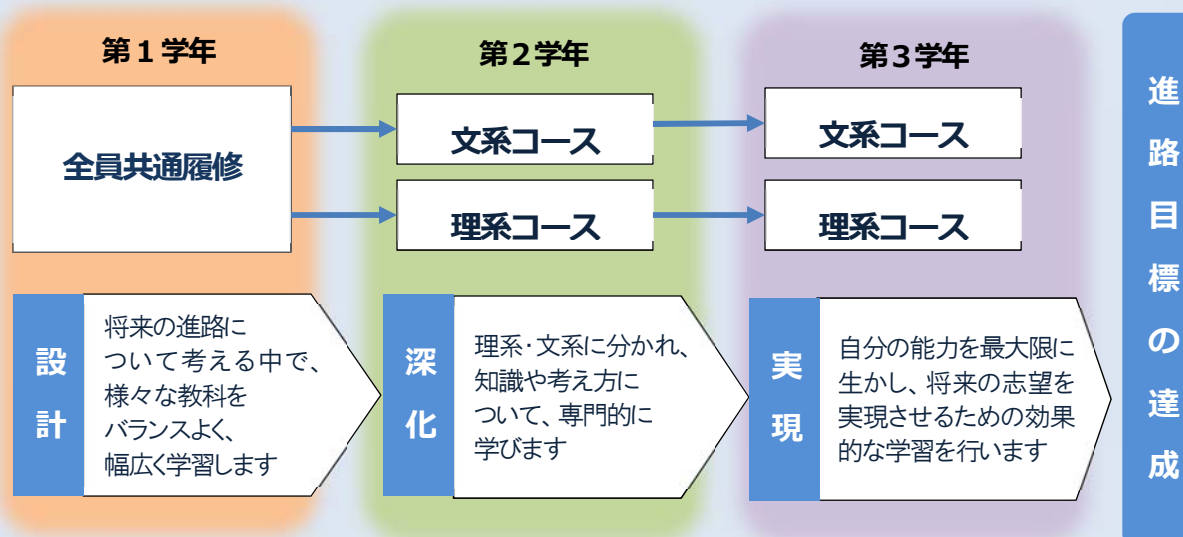
教育方針

1年次から卒業後を見据えたキャリア教育を実践し2年次からは目指すべき進路に応じて文系と理系に分け、きめ細かな学習指導体制で進路実現を支援する。

基礎教科においては習熟度別の少人数指導体制で授業を行い、それぞれの進路先に応じた学力を身に付けさせる。

授業とは別に放課後の特課、土曜講座など学力向上と受験対策に特化した学習指導を行い、学習の習慣化と学力向上を支援する。

コース選択



商業科

学科の目標

ビジネス社会で、生き抜いていくための基本知識と技能を身に付けると同時に、ICT社会に対応できるよう、ビジネスの諸活動において情報を活用していくための知識や技能を身に付ける。

求める生徒像

簿記、会計などの商業ビジネスや、プログラミングや情報システムなどのコンピュータの活用に興味・関心があり、その知識と技術を深め、高度資格取得に意欲的に取り組む生徒

高い倫理観と責任感をもち、商業人としての身だしなみ、あいさつ、言葉づかいやビジネスマナーをしっかりと身に付けようとする生徒

教育方針

社会の変化に対応できる専門性と確かな学力を身に付けさせ、将来のビジネスのスペシャリストを育成する。

あいさつ、マナー、身だしなみなど、豊かな人間関係を築く能力を授業、行事、部活動等、学校生活全般を通して、体験的に身に付けさせる。

高校3年間を見通した指導計画に基づくキャリア教育を推進し、生徒一人ひとりの能力を最大限に発揮できるよう進路実現を支援する。

地域の教育機関、企業等と連携し、専門教育やキャリア教育を推進するとともに、地域社会の発展に貢献できる教育活動を実践する。

取得できる資格

- ・日商簿記検定 2級
- ・全商情報処理検定プログラミング部門 1級
- ・全商情報処理検定ビジネス情報部門 1級
- ・全商簿記検定 1級
- ・全商商業経済検定 1級
- ・全商珠算電卓検定 1級
- ・全商ビジネス文書検定 1級

食品調理科

学科の目標

食分野に関する専門的な知識や技術を習得し、食分野で活躍する人材を育成する。

求める生徒像

「食」に興味・関心があり、調理や栄養、食品についての専門的な知識・技術を深めようとする意欲のある生徒。また、調理師免許を取得し、スペシャリストを目指す生徒

「食」に対する衛生観念や責任感を持ち、「食」に携わる者としての身だしなみ、あいさつ、言葉づかいやマナーをしっかりと身に付けようとする生徒

教育方針

社会の変化に対応できる専門性と確かな学力を身に付けさせ、将来の食のスペシャリストを育成する。

あいさつ、マナー、身だしなみなど、豊かな人間関係を築く能力を授業、行事、部活動等、学校生活全般を通して、体験的に身に付けさせる。

高校3年間を見通した指導計画に基づくキャリア教育を推進し、生徒一人ひとりの能力を最大限に発揮できるよう進路実現を支援する。

地域の教育機関、企業等と連携し、専門教育やキャリア教育を推進するとともに、地域社会の発展に貢献できる教育活動を実践する。

取得できる資格

- ・ 調理師免許
- ・ 専門調理師技術考査（学科）
- ・ 家庭科技術検定食物調理1級
- ・ 全商ビジネス文書検定3級

4 教育課程

普通科(全日制) 平成30年度入学生 教育課程表(案)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1 年次	国語総合 (5)	現代社会 (2)	数学 (3)	数学 (1)	数学A (2)	物理基礎 (2)	生物基礎 (2)	数学基礎 (2)	体育 (3)	保健 (1)	言美書 (2)	コミュニケーション 英語 (4)	英語表現 (2)	家庭基礎 (2)	社会と 情報 (2)	総学 (1)	HR 活動 (1)																	
																		現代文B (3)	古典B (4)	世史A 地理A (2)	世史B 地理B (3)	数学 (2)	数学B (2)	化学基礎 (2)	総合生物 (1)	英語表現 (2)	コミュニケーション 英語 (5)	英語表現 (2)	総学 (1)	HR 活動 (1)				
	現代文B (2)	古典B (3)	世史A 地理A (2)	世史B 地理B (2)	数学 (2)	数学B (2)	化学基礎 (2)	物理 生物 (3)	化学 (2)	体育 (3)	保健 (1)	コミュニケーション 英語 (4)	英語表現 (2)	総学 (1)	HR 活動 (1)																			
	現代文B (3)	古典B (3)	世史A 地理A (4)	世史B 地理B (4)	数学 (2)	数学B (2)	総合数学1 (4)	総合生物 (2)	化学 (2)	化学 (2)	保健 (1)	コミュニケーション 英語 (5)	英語表現 (2)	総学 (1)	HR 活動 (1)																			
2 年次	国語総合 (5)	現代社会 (2)	数学 (3)	数学 (1)	数学A (2)	物理基礎 (2)	生物基礎 (2)	数学基礎 (2)	体育 (3)	保健 (1)	言美書 (2)	コミュニケーション 英語 (4)	英語表現 (2)	家庭基礎 (2)	社会と 情報 (2)	総学 (1)	HR 活動 (1)																	
																		現代文B (2)	古典B (3)	世史A 地理A (2)	世史B 地理B (2)	数学 (2)	数学B (2)	化学基礎 (2)	物理 生物 (3)	化学 (2)	体育 (3)	保健 (1)	コミュニケーション 英語 (4)	英語表現 (2)	総学 (1)	HR 活動 (1)		
3 年次	国語総合 (5)	現代社会 (2)	数学 (3)	数学 (1)	数学A (2)	物理基礎 (2)	生物基礎 (2)	数学基礎 (2)	体育 (3)	保健 (1)	言美書 (2)	コミュニケーション 英語 (4)	英語表現 (2)	家庭基礎 (2)	社会と 情報 (2)	総学 (1)	HR 活動 (1)																	
																		現代文B (2)	古典B (3)	世史A 地理A (4)	世史B 地理B (4)	数学 (2)	数学B (2)	総合数学2 (4)	物理 生物 (4)	化学 (2)	化学 (2)	保健 (1)	コミュニケーション 英語 (4)	英語表現 (2)	総学 (1)	HR 活動 (1)		

商業科(全日制) 平成30年度入学生 教育課程表(案)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1 年次	国語総合 (5)	現代社会 (3)	数学 (3)	科学と 人間生活 (2)	体育 (2)	保健 (1)	コミュニケーション 英語 (3)	簿記 (6)	ビジネス基礎 (3)	情報処理 (6)	HR 活動																							
												現代文B (4)	地理A (2)	数学A (3)	生物基礎 (2)	体育 (2)	保健 (1)	コミュニケーション 英語 (3)	芸術 (音楽書) (2)	財務会計 (5)	原価計算 (4)	ビジネス情報 (5)	総学 (1)	HR 活動										
												現代文B (4)	世界史A (2)	数学 (3)	体育 (3)	コミュニケーション 英語 (3)	英語表現 (2)	家庭基礎 (2)	課題研究 (2)	総合実践 (3)	マーケティング (3)	経済活動と法 (3)	ビジネス情報管理 (4)	総学 (1)	HR 活動									
2 年次	国語総合 (5)	現代社会 (3)	数学 (3)	科学と 人間生活 (2)	体育 (2)	保健 (1)	コミュニケーション 英語 (3)	簿記 (6)	ビジネス基礎 (3)	情報処理 (6)	HR 活動																							
												現代文B (4)	地理A (2)	数学A (3)	生物基礎 (2)	体育 (2)	保健 (1)	コミュニケーション 英語 (3)	芸術 (音楽書) (2)	財務会計 (5)	原価計算 (4)	ビジネス情報 (5)	総学 (1)	HR 活動										
3 年次	国語総合 (5)	現代社会 (3)	数学 (3)	科学と 人間生活 (2)	体育 (2)	保健 (1)	コミュニケーション 英語 (3)	簿記 (6)	ビジネス基礎 (3)	情報処理 (6)	HR 活動																							
												現代文B (4)	世界史A (2)	数学 (3)	体育 (3)	コミュニケーション 英語 (3)	英語表現 (2)	家庭基礎 (2)	課題研究 (2)	総合実践 (3)	マーケティング (3)	経済活動と法 (3)	ビジネス情報管理 (4)	総学 (1)	HR 活動									

食品調理科(全日制) 平成30年度入学生 教育課程表(案)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1 年次	国語総合 (5)	現代社会 (3)	数学 (3)	科学と 人間生活 (2)	体育 (2)	保健 (1)	コミュニケーション 英語 (3)	調理 (4)	生活産業 基礎 (2)	生活産業 情報 (2)	調理 (5)	栄養 (2)	HR 活動																			
														現代文B (4)	地理A (2)	数学A (3)	生物基礎 (2)	体育 (2)	保健 (1)	コミュニケーション 英語 (3)	芸術 (音楽書) (2)	財務会計 (5)	原価計算 (4)	ビジネス情報 (5)	総学 (1)	HR 活動						
														現代文B (4)	世界史A (2)	数学 (2)	体育 (3)	コミュニケーション 英語 (2)	英語表現 (2)	家庭基礎 (2)	課題研究 (2)	総合実践 (3)	マーケティング (3)	経済活動と法 (3)	ビジネス情報管理 (4)	総学 (1)	HR 活動					
2 年次	国語総合 (5)	現代社会 (3)	数学 (3)	科学と 人間生活 (2)	体育 (2)	保健 (1)	コミュニケーション 英語 (3)	調理 (4)	生活産業 基礎 (2)	生活産業 情報 (2)	調理 (5)	栄養 (2)	HR 活動																			
														現代文B (4)	地理A (2)	数学A (3)	生物基礎 (2)	体育 (2)	保健 (1)	コミュニケーション 英語 (3)	芸術 (音楽書) (2)	財務会計 (5)	原価計算 (4)	ビジネス情報 (5)	総学 (1)	HR 活動						
3 年次	国語総合 (5)	現代社会 (3)	数学 (3)	科学と 人間生活 (2)	体育 (2)	保健 (1)	コミュニケーション 英語 (3)	調理 (4)	生活産業 基礎 (2)	生活産業 情報 (2)	調理 (5)	栄養 (2)	HR 活動																			
														現代文B (4)	世界史A (2)	数学 (2)	体育 (3)	コミュニケーション 英語 (2)	英語表現 (2)	家庭基礎 (2)	課題研究 (2)	総合実践 (3)	マーケティング (3)	経済活動と法 (3)	ビジネス情報管理 (4)	総学 (1)	HR 活動					

普通科（全日制）：平成30年度入学生 教育課程表（案）

教科	科目	標準 単位	1 年	2 年		3 年		履修単位の計	
				文系	理系	文系	理系	文系	理系
国語	国語総合	4	5					5	5
	現代文B	4		3	2	3	2	6	4
	古典B	4		4	3	3	3	7	6
	世界史A	2						0, 2	0, 2
	世界史B	4						0, 4, 7	0, 6
	日本史A	2			(2)	(2)			
地理歴史	日本史B	4		(3)	(2)	(4)	(4)	0, 4, 7	0, 6
	地理A	2						0, 2	0, 2
	地理B	4					[4]	0, 4, 7	0, 6
	現代社会	2	2					2	2
公民	倫理	2						0, 2	
	政治・経済	2						0, 2	
	数学	3	3					3	3
数学	数学	4	1	4	3			5	4
	数学	5			2		3		5
	数学A	2	2					2	2
	数学B	2		2	2			2, 4	2
	総合数学1	2-6				4		4	
	総合数学2	2-6					4		4
理科	物理基礎	2	2					2	2
	物理	4				(2)			0, 7
	化学基礎	2		2	(3) 2		(4)	2, 4	2
	化学	4			2		5		7
	生物基礎	2	2					2	2
	生物	4							0, 7
	地学基礎	2							
総合生物	2		1			2	3		
保健体育	体育	7-8	3	3	3	2	2	8	8
	保健	2	1	1	1			2	2
芸術	音楽	2				(2)		0, 2	0, 2
	音楽	2						0, 1	
	美術	2	(2)					0, 2	0, 2
	美術	2		(1)				0, 1	
	書道	2						0, 2	0, 2
外国語	書道	2						0, 1	
	コミュニケーション英語	3	4					4	4
	コミュニケーション英語	4		5	4			5	4
	コミュニケーション英語	4				5	4	5	4
	英語表現	2	2			2	2	4	4
家庭情報	英語表現	4		2	2			2	2
	家庭基礎	2	2					2	2
	社会と情報	2	2					2	2
校外学習活動	知識及び技能審査	2-8							
共通教科計			33	33	33	29, 31, 33	33	95, 97, 99	99
主として開設される各教科において	音楽	音楽理論	2-6					0, 2	
		音楽表現	2-6					0, 2	
	美術	素描	2-6					0, 2	
		美術表現	2-6					0, 2	
	書道	書道概論	2					0, 2	
書道表現		2					0, 2		
家庭	子どもの発達と保育	2					0, 2		
専門教科計						0, 2, 4		0, 2, 4	
総合的な学習の時間			1	1	1	1	1	3	3
履修単位の合計			34	34	34	34	34	102	102
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	1	1		
	生徒会活動								
	学校行事								
備考	1 ()は、それぞれ1科目を選択し履修する。								
	2 第1学年の数学は、数学I(3単位)と数学A(2単位)を週6時間を使って交互に合計5単位分履修する。数学I・数学A終了後、週6時間を使って数学IIを1単位分履修する。								
	3 第1学年の芸術は、音楽I・美術I・書道Iから1科目を選択し履修する。第2学年の文系コースは、引き続き音楽II・美術II・書道IIを選択する。								
	4 第2学年文系コースの数学は、数学II(4単位)と数学B(2単位)を週6時間を使って、交互に履修する。理系コースの数学は、数学II(3単位)、数学B(2単位)を週7時間を使って履修する。数学II・数学B終了後、週7時間を使って数学IIIを2単位分履修する。								
	5 第2学年理系コースの理科は、化学基礎を週4時間を使って2単位分履修する。化学基礎終了後、化学を週4時間を使って2単位分履修する。								
	6 第2学年で世界史Bを選択した者は地理Aを選択する。日本史Bか地理Bかのみいずれかを選択した者は世界史Aを選択する。地理Bの科目は3年次まで継続履修する。								
	7 第3学年の文系コースは2年次からの継続履修の地理B(4単位)を履修する。また、[]については、倫理と政治・経済の各2単位計4単位を履修するか、または、2年次に履修していない地理Bの3科目(各4単位)から1科目を選択し履修する。								
	8 第3学年文系コースは、数学B・音楽理論・素描・書道概論・子どもの発達と保育から1科目、化学基礎・音楽表現・美術表現・書道表現から1科目をそれぞれ選択し履修する。								
	9 第3学年の理系コースは2年次からの継続履修の物理または生物(4単位)を履修する。								
	10 知識及び技能審査(校外学習活動)は、実用英語技能検定の準2級～準1級取得者を対象に2～4単位を、日本漢字能力検定の準2級～準1級取得者を対象に2～4単位を認定する。								

商業科(全日制) : 平成30年度入学生 教育課程表(案)

教科	科目	標準単位数	入学年度			
			1年	2年	3年	合計
国語	国語総合	4	5			5
	現代文B	4		4	4	8
地理歴史	世界史A	2			2	2
	地理A	2		2		2
公民	現代社会	2	3			3
数学	数学I	3	3		3	6
	数学A	2		3		3
理科	科学と人間生活	2	2			2
	生物基礎	2		2		2
保健体育	体育7～8	2	2	2	3	7
	保健	2	1	1		2
芸術	音楽I	2		▲2		2.0
	美術I	2		▲2		2.0
	書道I	2		▲2		2.0
外国語	コミュニケーション英語I	3	3			3
	コミュニケーション英語II	4		3	3	6
	英語表現I	2			2	2
家庭	家庭基礎	2			2	2
情報	社会と情報	2				
各学科に共通する教科小計			19	19	19	57
商業	ビジネス基礎	2～4	3			3
	課題研究	2～6			2	2
	総合実践	2～6			3	3
	マーケティング	2～4			3	3
	経済活動と法	2～4			3	3
	簿記	2～5	6			6
	財務会計I	2～4		5		5
	原価計算	2～4		4		4
	情報処理	2～4	6			6
	ビジネス情報	2～4		5		5
ビジネス情報管理	2～5			4	4	
校外学習活動	知識及び技能審査	1～20				
主として専門学科において開設される教科小計			15	14	15	44
総合的な学習の時間				1		1
履修単位数合計			34	34	34	102
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	
	生徒会活動		別途計画			
	学校行事					
備考			「社会と情報」は「情報処理」で代替 「総合的な学習の時間」3単位のうち、「課題研究」で2単位を代替 ▲…選択科目			

食品調理科（全日制）：平成30年度入学生 教育課程表（案）

教 科	科 目	入 学 年 度	平 成 3 0 年 度 入 学			
			1 年	2 年	3 年	合 計
国 語	国 語 総 合	4	5			5
	現 代 文 B	4		4	4	8
	国 語 表 現					
地 理 史	世 界 史 A	2			2	2
	地 理 A	2		2		2
公 民	現 代 社 会	2	3			3
数 学	数 学	3	3		2	5
	数 学 A	2		3		3
理 科	科 学 と 人 間 生 活	2	2			2
	生 物 基 礎	2		2		2
保 健 育	体 育 7 ~ 8		2	2	3	7
	保 健	2	1	1		2
芸 術	音 楽	2		2		2,0
	美 術	2		2		2,0
	書 道	2		2		2,0
外 国 語	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語	3	3			3
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語	4		3	2	5
	英 語 表 現	2			2	2
家 庭	家 庭 基 礎	2	2			2
情 報	社 会 と 情 報	2				
各 学 科 に 共 通 す る 教 科 小 計			21	19	15	55
家 庭	生 活 産 業 基 礎	2	2			2
	課 題 研 究 2 ~ 4				2	2
	生 活 産 業 情 報 2 ~ 4		2			2
	食 文 化 1 ~ 2				1	1
	調 理 2 ~ 14		5	4	7	16
	栄 養 2 ~ 3		2	1		3
	食 品 2			2		2
	食 品 衛 生 2 ~ 4			2	3	5
	公 衆 衛 生 2 ~ 4				3	3
	総 合 調 理 実 習 3			3		3
校 外 学 習 活 動	知 識 及 び 技 能 審 査 1 ~ 20					
主 として 専 門 学 科 に お いて 開 設 さ れ る 教 科 小 計			11	12	16	39
総 合 的 な 学 習 の 時 間				1		1
履 修 単 位 数 合 計			32	32	31	95
特 別 活 動	ホ - ム ル - ム 活 動		1	1	1	
	生 徒 会 活 動		別 途 計 画			
	学 校 行 事					
備 考			「社会と情報」は「生活産業情報」で代替 「総合的な学習の時間」3単位のうち、「課題研究」 で2単位を代替 ...選択科目			

5 特色ある教育活動

普通科・専門学科共通

充実したキャリア教育

大学や鹿島市、地元企業と連携して、3年間を見据えたキャリア教育を実施する。

- ・ 地元大学の出前授業
- ・ 東京の大手企業や難関大学での研修・訪問
- ・ インターンシップ

特色ある部活動

これまで鹿島高等学校及び鹿島実業高等学校の両校で培ってきた部活動の伝統を継承する。

地域社会との連携

中高連携など授業交流を行い、地域中学校との連携を図る。

鹿島ロードレースや地域清掃など、地域ボランティアに積極的に参加する。

学校行事等を通じて、地域との連携をこれまで以上に進める。

普通科

個々の生徒に応じたきめ細やかな学習指導

個々の能力を最大限に伸ばす、個性・学力に応じた細やかな指導を行う。

朝 15 分間の「旭の時間」を活用した英単テストなどにより基礎学力を養成する。

幅広い大学への進学に対応した教育課程に基づく、数学・英語など少人数指導や習熟度別展開授業を行う。

添削指導や教科セミナー、個別模試などを活用した、医学部を含む難関大学進学へ向けた指導を行う。

専門学科

基礎学力の向上

朝 15 分間の「旭の時間」を活用した学び直し学習などにより、基礎学力を養成する。

授業時間の確保

専門学科も普通科と同様に週 35 時間授業を実施することで、基礎学力の定着や資格取得等に向けた学習を充実させる。

充実した施設設備

商業科や食品調理科では、充実した施設を最大限に活用した専門教育を行う。

6 校時

(1) 校時設定の考え方

専門学科も週35時間授業(7限授業)とし、両校で校時を揃える。(始業・終業時間も揃える。)

食品調理科の調理実習の関係から、掃除時間は昼休み後とする。

始業時間を8時15分とし、朝のホームルームの時間を15分と長めに取ることで、朝の連絡や朝読書、小テスト等を校地(校舎)・学科ごとに柔軟に行うようにする。「旭の時間」(朝のホームルームにおける連絡事項等については、学習用PCも活用する。)

(2) 校時表

50分授業		45分授業	
読書・HR (「旭の時間」)	8:15 ~ 8:30	読書・HR (「旭の時間」)	8:15 ~ 8:30
第1校時	8:35 ~ 9:25	第1校時	8:35 ~ 9:20
第2校時	9:35 ~ 10:25	第2校時	9:30 ~ 10:15
第3校時	10:35 ~ 11:25	第3校時	10:25 ~ 11:10
第4校時	11:35 ~ 12:25	第4校時	11:20 ~ 12:05
昼休み45分	12:25 ~ 13:10	昼休み45分	12:05 ~ 12:50
掃除	13:10 ~ 13:20	掃除	12:50 ~ 13:00
第5校時	13:25 ~ 14:15	第5校時	13:05 ~ 13:50
第6校時	14:25 ~ 15:15	第6校時	14:00 ~ 14:45
第7校時	15:25 ~ 16:15	第7校時	14:55 ~ 15:40
ホーム終礼	16:15 ~ 16:20	ホーム終礼	15:40 ~ 15:45

【参考資料】

JR 肥前鹿島駅の時刻表 (平成29年1月26日現在)

	上り	下り	備考
登校	7:47	7:46	
下校	17:34	17:03	一般生徒
	18:43	18:04	
	19:45 (山口駅)	19:35	部活動生徒

駅から各校舎までの徒歩による時間・距離

- ・ 大手門学舎 14分(1.2km)
- ・ 赤門学舎 15分(1.3km)

周辺地図



7 校舎制

(1) 校舎間移動

校舎間距離：280m

生徒の移動

- ・ 授業については、生徒の校舎間移動は原則行わず、授業担当教員が移動する。
- ・ 合同行事等の際は、生徒の移動時間を考慮したスケジュールを設定する。

(2) 部活動

- ・ 再編前の両高等学校にある部活動は、全て新高校でも存続させる。
(一方の学校にしかない部活動も、そのまま新高校で存続させる。)
- ・ 部活動ごとに活動場所を設定する。
- ・ 生徒の部活動の移動は各自で行う。
- ・ 大会等へ参加する場合のチーム編成については、部活動ごとに今後検討する。

【設置部活動(案)】

体育部	文化部
野球(男)	吹奏楽
陸上競技(男女)	書道
サッカー(男)	図書・文芸
バスケットボール(男女)	写真
バレーボール(男女)	天文科学
ソフトテニス(男女)	家政
テニス(男女)	美術
卓球(男女)	食物
柔道(男)	情報処理
剣道(男女)	手芸・茶華道
弓道(男女)	JRC(同好会)
レスリング(男)	囲碁(同好会)
ソフトボール(女)	

(3) 合同で実施する主な学校行事(案)

学校としての一体感を醸成するために、以下の合同行事を設定する。

(括弧内は想定される活動場所)

入学式(体育館)
卒業式(体育館)
始業式・終業式(体育館)
芸術鑑賞会(体育館・市民会館等)
体育祭(グラウンド)
文化祭(体育館・各校舎・各教室)
クラスマッチ(体育館・グラウンド)
高校総体壮行会(体育館)
全校集会(体育館)
修学旅行
開校記念行事(体育館)
学年集会(体育館・武道場・講堂)
新入生合宿
牡丹餅会(体育館)

平成30年～31年の移行期における各学校((新)鹿島高等学校、鹿島高等学校、鹿島実業高等学校)の行事のあり方については、今後校内検討委員会で検討する。

新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日
佐賀県教育委員会教育長決定
一部改正 平成17年4月1日
一部改正 平成18年7月12日
一部改正 平成21年4月1日
一部改正 平成27年4月1日

(設置)

第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。

- (1) 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること。
- (2) 新高校の施設・設備に関すること。
- (3) 新高校への円滑な移行に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、検討を要すること。

(組織)

第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。

- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
- 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会議)

第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。

- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

(補則)

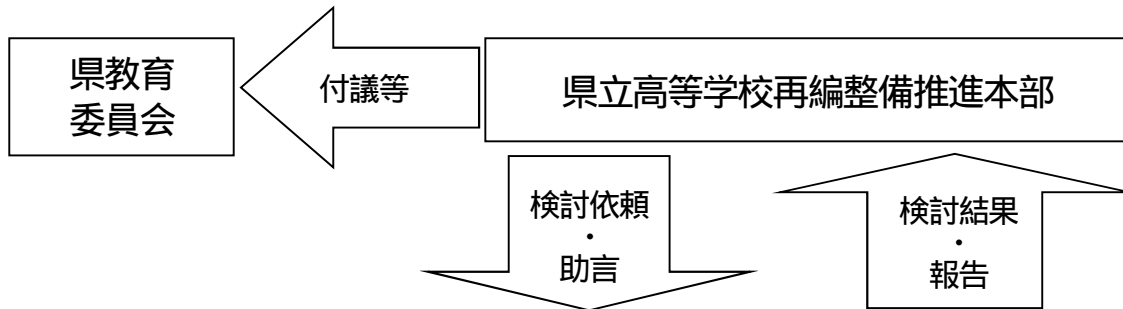
第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要項は、平成14年10月21日から施行する

別表（第1条関係）

委員会名	再編等対象校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校



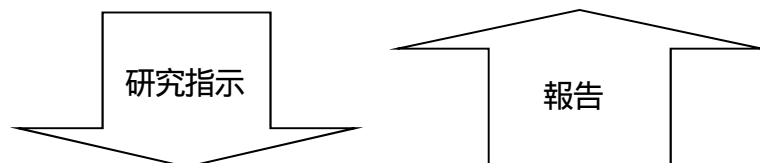
鹿島地区新高校設置準備委員会（H27.4月設置）

委員構成

- ・両校関係者（教職員）
- ・地域関係者（市町、高校PTA・同窓会、中学校長代表等）
- ・県教育委員会

所掌事項

新高校の教育内容及び管理運営等、施設・設備、新高校への円滑な移行等



鹿島地区新高校作業部会

委員構成 両校の教頭・担当者、県教育委員会担当者（事務局含む）

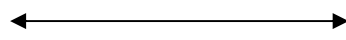
検討事項

委員会の所掌事務のうち研究指示事項



校内検討委員会

再編対象校



再編対象校

検討事項

作業部会の検討事項のうち研究指示事項

鹿島地区新高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考	
1	鹿島高等学校 校長	角 敬一郎	委員長・学校関係者	
2	鹿島実業高等学校 校長	林 嘉英	副委員長・学校関係者	
3	鹿島高等学校 教頭	碓 剛	学校関係者	
4	鹿島実業高等学校 教頭	中島 淳		
5	鹿島市教育長	江島 秀隆	鹿島市	市町関係者
6	鹿島市総務部長	橋村 勉		
7	嬉野市教育長	杉崎 士郎	嬉野市	
8	白石町教育長	北村 喜久次	白石町	
9	太良町教育長	松尾 雅晴	太良町	
10	鹿島高等学校 同窓会代表	矢野 善紀	地元関係者	
11	鹿島実業高等学校 同窓会代表	伊東 茂		
12	鹿島高等学校 PTA代表	岡田 和人		
13	鹿島実業高等学校 PTA代表	藤永 一男		
14	鹿島市立西部中学校長	白仁田 茂	中学校関係者	
15	鹿島市立東部中学校長	植松 正鋼		
16	教育総務課長	熊崎 康春	県教委関係者	
17	教育振興課長	五反田 進		
18	教職員課長	福地 昌平		
19	学校教育課長	松尾 敏実		
20	教育情報化支援室長	碓 浩一		
21	保健体育課長	吉松 幸宏		
22	県立高校再編整備推進室長	原 和弘		
23	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰		
事務局	鹿島高等学校教諭	西岡 哲也		
	鹿島実業高等学校教諭	梶原 圭介		
	県立高校再編整備推進室 企画主査	椛島 秀樹		
	県立高校再編整備推進室 企画主査	高山 裕樹		